

国や自治体等の取組

国（環境省）

マイルストーン

- 「プラスチック資源循環戦略」の策定（2019年5月）
プラスチックに関する目指すべき方向性について、6つのマイルストーンを設定
- レジ袋有料化検討ワーキンググループ設置（2019年9月）
早ければ2020年4月1日からの施行を目指し、検討を開始

- <リデュース>
① 2030年までにワンウェイプラスチックを累積 25%排出抑制
- <リユース・リサイクル>
② 2025年までにリユース・リサイクル可能なデザインに
③ 2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクル
④ 2035年までに使用済プラスチックを 100%リユース・リサイクル等により、有効活用
- <再生利用・バイオマスプラスチック>
⑤ 2030年までに再生利用を倍増
⑥ 2030年までにバイオマスプラスチックを 約200万トン導入

大阪府・大阪市

- 「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を実施（2019年1月28日）
宣言の趣旨に賛同する府市内町村等行政機関、業界団体、NPO、学校等※を募集中
※27市町村、6団体、16事業者が宣言（2019年9月25日現在）



府市共通の取組 ○庁舎、関連施設における使い捨てプラスチック使用削減及びプラスチックごみの適正処理の推進

大阪府の取組 ○大阪湾のマイクロプラスチックの実態調査を実施
○「G20大阪サミットクリーンUP作戦 / 咲洲キックオフ」において清掃活動参加者にリサイクル製品を配布（2019年5月28日）

大阪市の取組 ○大阪エコバッグ運動（エコバッグを常に携帯する運動の推進）
○みんなで取り組むペットボトル循環プロジェクト（地域、事業者との連携による新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの構築）



（出典）大阪府HP（URL <http://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/kaiyoplastic/index.html>）

北摂7市3町（豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町）

- 「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」を事業者※と締結 ※12事業者（2019年9月25日現在）

- レジ袋の無料配布中止を開始（2018年6月1日）⇒マイバッグ持参率、実施後47%から80%へ

- 吹田市で「イオン吹田店におけるシェアバッグ実証実験」を実施
市内でエコバッグを無償で貸し出し店舗、駅、大学、庁舎等に回収拠点を設置し、回収したバッグを繰り返し利用（2019年6月1日から）

（出典）豊中市HP（URL https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/gomi_risaikuru_bika/gomi_recycl_bika_to/a001060040030000.html）



関西広域連合（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）

- マイボトル利用可能な店舗を表す「マイボトルスポットMAP」を作成

- 「マイボトルdeエコキャンペーン2019」を実施中
マイボトルを使用したレシート5枚を集めて応募すると抽選で商品をプレゼント（2019年10月1日～11月30日）

（出典）関西広域連合HP（URL <https://my-bottle.jp/>）

